



JASDAQ

平成21年6月30日

各 位

株 式 会 社 焼 肉 屋 さ か い
代表取締役社長 緒方 智
(JASDAQ・コード：7622)
問 合 せ 先 経 営 企 画 課 長 菊 谷 幸 司
T E L : 0 5 2 (9 1 0) 1 7 2 9

親会社等に関する事項について

1. 親会社の商号等

(平成21年3月31日現在)

親会社等	属性	親会社等の 議決権所有 割合(%)	親会社等が発行する株券が上場さ れている証券取引所等
株式会社ジー・コミュニケーション	親会社	51.8	なし(非上場)

2. 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付けその他の上場会社と親会社等との関係

親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付け、親会社等やそのグループ企業との取引関係や人的・資本的關係

当社は、株式会社ジー・コミュニケーション(以下同社という)の連結対象子会社であり、同社を中心とした企業グループの中に属しております。同社は、ホールディングカンパニーであると共に、経営コンサルティング、デザイン施工、トレーディング等を主な内容として事業を展開しております。また、同社を中心としたグループは、教育事業、外食事業、卸売事業、製造販売事業、その他事業のグループから構成されております。

同社との人的関係につきましては、平成21年6月30日現在において、非常勤取締役1名が親会社の役員を兼務しております。

同社との取引関係は、飲食業態の事業に関する包括的業務提携を締結致しております。また、同社及び一部の子会社と取引を行っておりますが、一般取引先と同様に市場価額等を勘案し、公正・妥当な取引条件で行っております。

親会社等の企業グループに属することによる事業上の制約、リスク及びメリット、親会社等やそのグループ企業との取引関係や人的・資本的關係などの面から受ける経営・事業活動への影響等

当社は、親会社の企業グループと一定の協力関係を構築しており、その効率的で付加価値の高い事業運営によって顧客満足度の向上と株主価値の増大を目的としていることから、親会社の商品、業態戦略に関する方針などが当社の経営方針の決定等について、影響を及ぼし得る状況にあります。

しかしながら、主要顧客・利用動機等の点で明確な事業の棲み分けがなされており、親会社の企業グループから自由な事業活動を阻害される状況にはないと考えております。

また、平成 21 年 6 月現在、親会社からの出向者の受け入れも行っておらず、特定の事業部門が出向者に相当程度依存するという状況も発生しておりません。

親会社等の企業グループに属することによる事業上の制約、親会社等やそのグループ企業との取引関係や人的・資金的関係などの面から受ける経営・事業活動への影響等がある中における、親会社等からの一定の独立性の確保に関する考え方及びそのための施策

当社は、親会社との経営情報及び技術・ノウハウの交換等を目的として、当社の要請に基づき親会社から 1 名の取締役が当社取締役を兼任しておりますが、経営上の判断や決定事項については社内規程等に則り機関決定を行っており、決定に際して親会社等の承認を得る事項等はないことから、独自の経営判断が行える状況にあると考えております。

今後も、従来どおり親会社の企業グループからの一定の独立性を維持することに留意しつつ、事業活動の効率化やノウハウの交換等を目的に、人材交流を図っていくことを検討しております。

親会社等からの一定の独立性の確保の状況

当社は親会社の企業グループと類似の事業を行っており、緊密な協力関係を保ちながら事業展開しておりますが、親会社の企業グループとは主要業態及び営業地域等の棲み分けがなされており、兼任取締役の就任状況に関しても、当社独自の経営判断を妨げることなく、一定の独立性が確保されていると認識しております。

(役員の兼務状況)

役職	氏名	親会社等又はそのグループ企業での役職	就任理由
非常勤取締役	杉本 英雄	株式会社ジー・コミュニケーション 代表取締役社長	これまで培ってきた F C 事業や飲食業界等の知識と経験を活かしていただき、幅広い見地から当社取締役会に有益な助言をいただけるものと判断し、当社から就任を依頼しております。

(注) 当社の取締役 4 名のうち、親会社との兼任役員は該当の 1 名であります。

(出向者の受入れ状況)

該当事項はありません。

3. 親会社等との取引に関する項

平成 21 年 3 月期有価証券報告書 (平成 21 年 6 月 25 日発表) 記載の「関係当事者との取引」の注記をご参照ください。

以 上